

平成20年度 『作文読本』採用のお願い

知識・技能を「活用」する力が育つ

平成19年度
全国学力・学習状況調査結果が
発表されました

新学習指導要領を見据えた

【国語B－基礎的な言語活動や言語事項に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題】

設問番号	1－	1二	2－	2二	2三(1)	2三(2)	3－(1)	3－(2)	4－	4二
学習指導要領の領域	話・聞	話・聞	読	書・読	書・読	書・読	読	読	読	書・言
正答率	59.0%	76.8%	55.3%	44.0%	44.4%	72.9%	50.8%	50.2%	53.1%	76.4%
無解答率	6.0%	7.4%	2.3%	3.8%	12.8%	11.2%	14.2%	18.4%	6.3%	9.3%
問題形式	短答式	記述式	短答式	記述式	短答式	記述式	記述式	記述式	選択式	短答式

徳島県

- 【書くこと】や記述式の問題について課題が見られる傾向があります。「作文読本」を使うことにより、その問題も解決できます。
- 【読】と示された問題についても、「考えをまとめ」たり、「説明」したりするなど、答える際に【書くこと】とかかわっています。いずれにしても、【書く力】や【書くことへの関心】に課題があると見られます。

1 使いやすいように編集されていて、朝の活動の時間や家庭学習として使えます。

- 新学習指導要領に配慮し、教科書の流れに合った編集
- 「練習」学習のページを3ページに厳選（短時間で取り組める）
- 自主学習も可能な、解答・解説のページ

2 投稿された友達の作文を読むだけでも作文の力が付いたり、作文に慣れ親しんだりすることができます。

- I 『作文の広場コーナー』…○県下から投稿された子どもの作文を主とした文章表現物を掲載する場
○作文の書き方や、作文の見方・考え方が育つアドバイスを添付
- II 『みんなの声コーナー』…○投稿された子どもの作文に対する一言感想を交流する場
同年代の友達の作文を読むだけでも、子どもの書く力の向上につながります。

3 投稿された作品全てに賞状をさしあげます。子どもの書く意欲を高め、はげみになっています。

- I 『作文の広場コーナー』…○投稿いただいた子ども全員に賞状を送付
- II 『みんなの声コーナー』…○お礼状の版を送付（印刷してお使いください）

4 表現するための基礎・基本となる力を確実に身に付け、他教科等の学習・総合的な学習を支えます。

- 多様な「書く場」や「書く活動」の紹介
- 多様な「ジャンル」や「書く題材」の紹介
50余年の実践の中で、研究され、精選されてきた「書く力」が、系統的に、かつ繰り返し練習できるように位置づけられています。県内採用の教科書にも配慮しています。

5 ことばとの出会いが語彙を豊かにし、言語感覚を磨きます。

スキル学習のページにモデルとして示されたことばや、県下の友達の作品に息づくことばは、子ども自身の表現にも生きてきます。子どもの発達や興味・関心などに配慮してことばを練り、編集しています。

作文読本は、ことばでつづろうとする子どもたちと先生方との努力の結晶です。平成20年度も、作文読本をご採用くださいますようお願い申し上げます。

随時申し込みは受け付けております。昨年度末にお申し込みでない学校・学年・学級につきましても、新年度に際しまして、子どもの書く力の向上のために、改めてご検討くださいますようお願い申し上げます。

- 1

書名

徳島県小学校作文読本
(1～6年の学年別)
- 2

体裁

色刷表紙 B5判表紙とも20ページ
- 3

毎月

1日発行
- 4

定価

100円(税込み)
- 5

編集

徳島県小学校作文読本編集委員会
- 6

監修

徳島県立総合教育センター学校経営支援課
指導主事 瀧川 靖治先生
- 7

印刷・発行

徳島県教育印刷株式会社



『作文読本』に掲載する子どもの作品の募集について

作文読本の紙面を充実させるために、貴校の子どもたちの作品を毎月20日までに、下記へお送りください。作文読本を読んで感想などを交換する場『みんなの声』のコーナーも設けています。お気軽に子どもや保護者、先生の声聞かせてください。なお、採用校には、各学年の年間計画表を、早々にお送りします。

〒770-0003 徳島市北田宮1丁目8-68 徳島県教育会館内(4階) 徳島県教育印刷作文読本係

平成20年度『作文読本』申込書

学校名 ()	お申し込みいただいた先生 ()						
学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
児童用							
教師用							
計							

※ 1年は入門号を4月にお送りします。5月、6月、7月の学習内容もその中にふくまれております。
申込締切 毎月10日までに申し込みいただければ、翌号からお送りいたします。

申込方法 本申込書をFAXに添付してお送りください。

申込先 〒770-0873 徳島市東沖洲2丁目1-13 マリンピア産業団地
徳島県教育印刷株式会社 TEL (088) 664-6776
FAX (088) 664-6775

『作文読本』の児童作品及び「みんなの声」の投稿について（お願い）

徳島県作文読本編集委員会委員長
山本 哲生

知識・技能を「活用」する力を付ける！

春も盛りを迎えるころとなりました。この度は『作文読本』をご活用くださり、まことにありがとうございます。さて、『作文読本』もさまざまに新しい取り組みを重ねていきたいと考えております。ご理解のうえ、ご協力のほど、お願い申し上げます。

1 さまざまな活用の仕方ができます。

- ① 子どもの自学自習に（朝の時間や自習の時間に）
 - ② 作文の題材の手引きに
 - ③ 教科書に出てくる文章技法、構成など叙述技能の定着（予習・復習）に
例 【題名】 【書き出しの工夫】 【心情を表す表現】 【五感を生かした表現】
【書き結びの工夫】 【文章の組み立て】 【原稿用紙の使い方】 等
 - ④ 子どもの音読の題材に
 - ⑤ 教師の指導の手がかりに
- また、次のような活用の仕方に効果があったとの声が寄せられております。

実践例

- ・ 作文を視写する
- ・ 作文を音読する
- ・ 書き出しだけを読む
- ・ 題名を読む
- ・ 書き結びを読む
- ・ 気に入った表現に線を引いたり、かこみを付けたりする

2 作文だけでなく、俳句やキャッチコピーなど、さまざまなジャンルの児童作品も投稿してください。

『作文読本』のスキルには、生活文はもとより、観察文、記録文、報告文、意見文、俳句、ことば遊び等さまざまなジャンルが取り上げられています。このことを受けまして、「作文の広場」にも、幅広く子どもたちの作品を載せていきたいと考えております。ぜひ、俳句やキャッチコピー、アクロスティックなどの作品もお送りください。投稿方法は、他の児童作品と同じです。学級2～3点 お選びください。

応募作品には、賞状が贈られます。なお、できるだけたくさんの子どもの作品を載せたいと言うことで、同一児童の作品は1年間で2回までとなっております。俳句など短い作品であっても、その1回とカウントいたします。題名・校名・氏名の明記につきましては、必ずご確認をお願いいたします。

3 「みんなの声」をお送りください。

友達の作文を読んで感想を書いたり、投稿したりする中で、書くことへの関心は高まってきます。「みんなの声」コーナーで掲載された子どもが、次は児童作品を投稿してくれるといったうれしい例も増えてきております。どうぞ、気軽に読んだ一言感想や意見をお送りください。投稿する際には「みんなの声」投稿用紙（15ページ下段）をご利用いただき、そのまま切り取ってお送りください。校名・氏名の明記につきまして、必ずご確認をお願いいたします（特に、低学年）。

4 「みんなの声」賞をご活用ください。

同封されております賞状が「みんなの声」賞です。ただし、「みんなの声」につきましては、編集の都合上、毎回、「みんなの声」賞を関係の学校にお送りすることが、かなり難しくなります。そこで、賞状は、4月当初に一定数をそれぞれの学校にお送りいたします。各学校で投稿していただいたときに、その都度この賞状をご利用ください。（この賞状ご利用の仕方は、投稿者全員に渡す、掲載者のみに渡す等、学校でのご判断にお任せいたします。）なお、ご利用に伴い、賞状が不足した場合には、学校で印刷していただくか、教育印刷（TEL 088-664-6776 作文読本担当係）までご連絡ください。

今、求められる

「活用」する力が育つ『作文読本』



平成19年4月に実施された「全国学力・学習状況調査」の「教科に関する調査の内容」には、次の2種類の問題が出題されました。

・「国語A」……「知識」　・「国語B」……「活用」

本県の子どもの「国語力」の課題として、特に「活用」する力を育てることが挙げられています。

「作文読本」は、その「活用」する力が確実に育つように編集してあります。

【例1】「全国学力・学習状況調査」の「国語B」番号②の問題

この問題では、「八十字以上百二十字以内で」「ごみを減らす取り組み」を書くことが求められています。

「八十字以上百二十字以内で」書くことは、「作文読本」で育つ「書く力」が生きる問題になっています。原稿用紙の使い方も、「作文読本」では、すべての学年で取り上げています。また、「ごみを減らす取り組み」を書くことは、「作文読本 五年生 No.8」の「解決方法を考えて書く」ことで育つ力です。

特に、5・6年生においては、No.1に原稿用紙に視写をするページを設けてあります。

【例2】「全国学力・学習状況調査」の「国語B」番号③の問題

この問題では、二つの読書感想文に「共通する良い書き方」を見付ける（評価し、自分の考えをまとめて書く）ことが求められています。

「作文読本」には、毎年6月に発行する「読書感想文特集号」があります。この特集号では、読書感想文の書き方を学年に応じて学ぶことや、多くの優れた読書感想文に出会うことができます。それぞれの感想文の「よいところ」をさがすなどの活動によって、読書感想文に「共通する良い書き方」を評価し、考えをまとめて書く力が育ちます。

【例3】「全国学力・学習状況調査」の「国語B」番号④の問題

この問題では、「ちらしの内容を説明する」こと、相手に「ふさわしい表現」で書くことが求められています。

「ちらしの内容を説明する」ことは、「作文読本 五年生 No.3」の「資料から必要な事を書き出し、まとめる」ことで育つ力です。また、相手に「ふさわしい表現」で書くことは、「作文読本 五年生 No.6」の「けい語を使って書く」ことで育つ力です。

以上のように、平成19年度の「全国学力・学習状況調査」で求められた「活用」する力は、「作文読本」によって、確実に育つわけです。